

2章 恵庭市の現状

1 人口・世帯構造

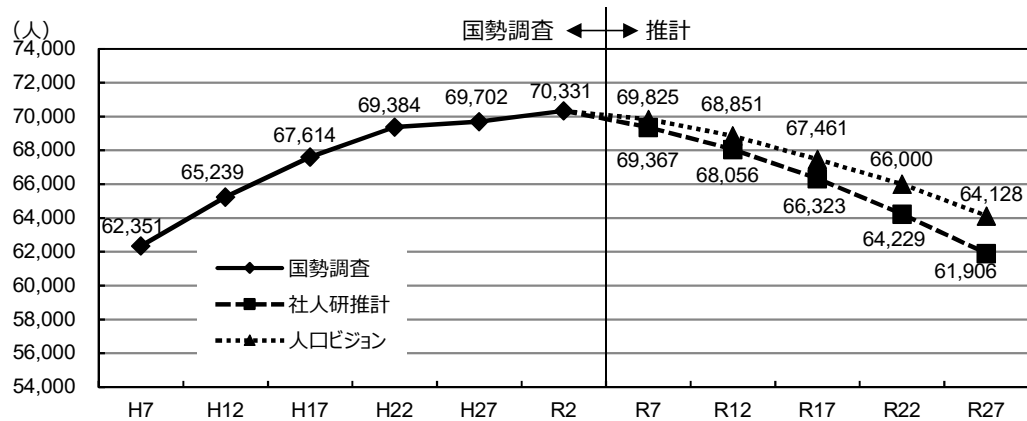
(1) 人口・世帯

a. 人口

恵庭市の人口は、令和2年国勢調査で70,331人、直近25年間(平成7～令和2年)で約13%増加していますが、令和2年以降減少に転じる見込みです。

将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和12年で68,056人、恵庭市人口ビジョンによる人口展望では、令和12年で68,851人とされています。

図 2-1 恵庭市の人口の推移

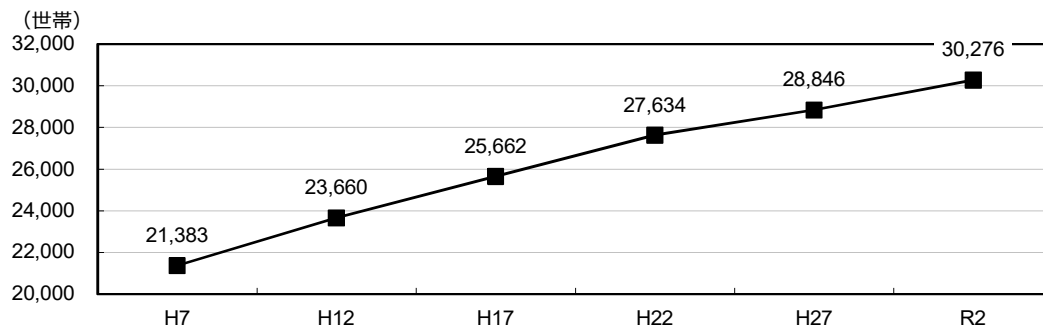


資料：H7～R2 は各年国勢調査結果（総務省統計局）、R7～27 は恵庭市人口ビジョン（令和元年12月）・国立社会保障・人口問題研究所推計値（令和5年12月）

b. 総世帯数

恵庭市の世帯数は、令和2年国勢調査で30,276世帯です。直近25年間（平成7～令和2年）で約42%の増加となっています。

図 2-2 恵庭市の世帯数の推移



資料：各年国勢調査結果（総務省統計局）

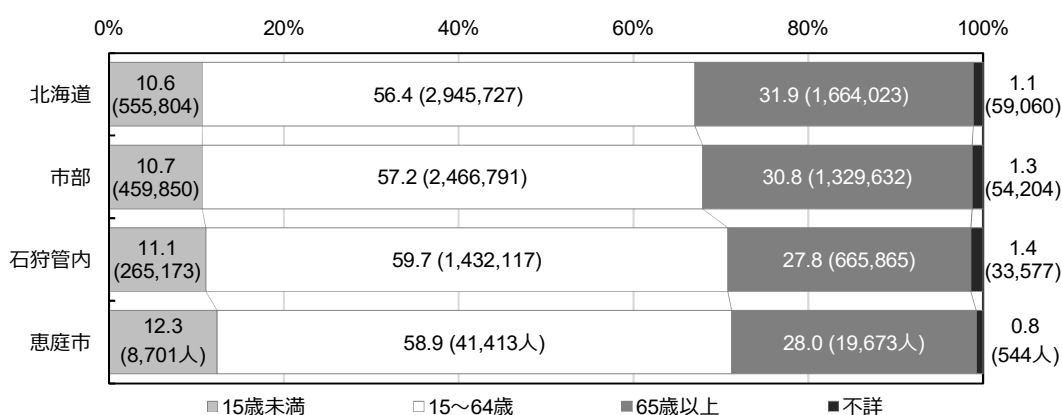
c. 年齢別人口

年齢別人口は、令和2年国勢調査で年少人口（15歳未満）が8,701人（12.3%）、生産年齢人口（15～64歳）が41,413人（58.9%）、高齢人口（65歳以上）が19,673人（28.0%）となっています。

年少人口率は、全道、市部、石狩管内で最も高く、高齢人口率は全道より低く、石狩管内と同程度となっています。

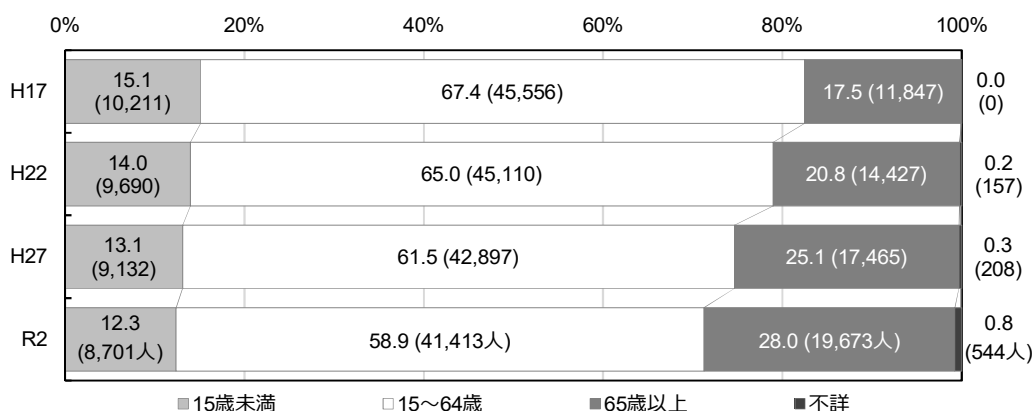
15年間（平成17～令和2年）の推移をみると、年少人口は減少、高齢人口は増加しており、少子高齢化が進展しています。特に、高齢人口は15年間で1.7倍と急速に増加しています。

図 2-3 年齢別人口構成比の比較



資料：令和2年国勢調査結果（総務省統計局）

図 2-4 年齢別人口構成比の推移

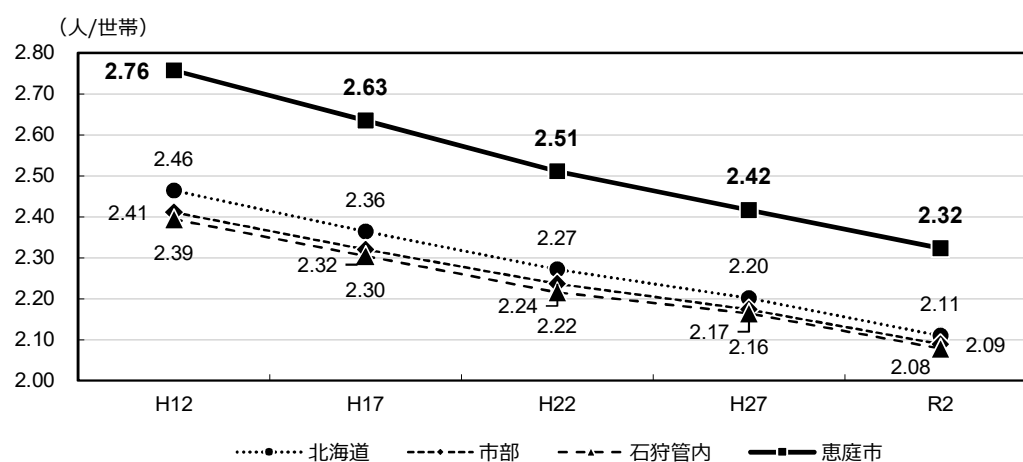


資料：各年国勢調査結果（総務省統計局）

(2) 平均世帯人員

平均世帯人員は、令和2年国勢調査で2.32人／世帯であり、全道、市部、石狩管内で最も世帯規模が大きくなっています。20年間（平成12～令和2年）の推移をみると、全道、市部、石狩管内とともに世帯規模の縮小化が見られます。

図 2-5 平均世帯人員の推移の比較



資料：各年国勢調査結果（総務省統計局）

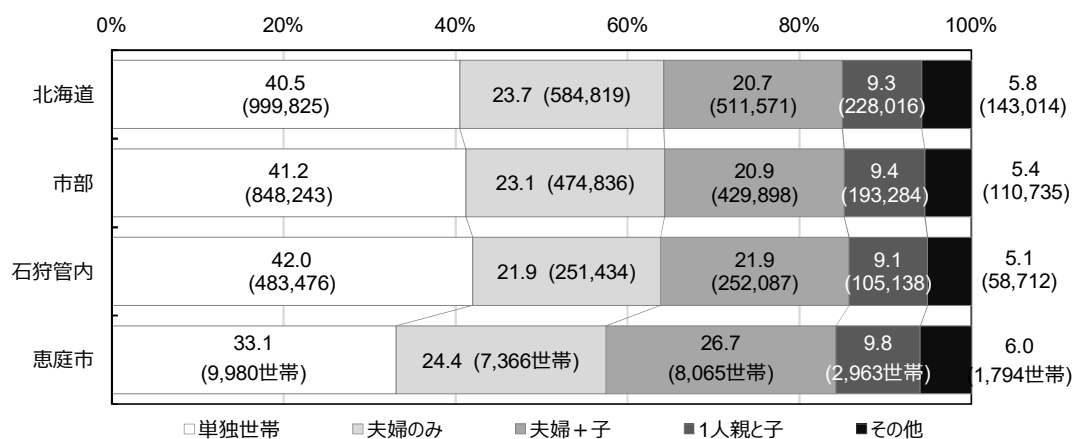
(3) 家族類型別世帯数

家族類型別世帯数は、令和2年国勢調査で「単独世帯」が9,980世帯（33.1％）で最も多く、以下、「夫婦＋子世帯」が8,065世帯（26.7％）、「夫婦のみ世帯」が7,366世帯（24.4％）となっています。

全道、市部、石狩管内と比べて、夫婦のみ世帯、及び夫婦＋子世帯の割合が最も高く、単独世帯の割合は最も低くなっています。

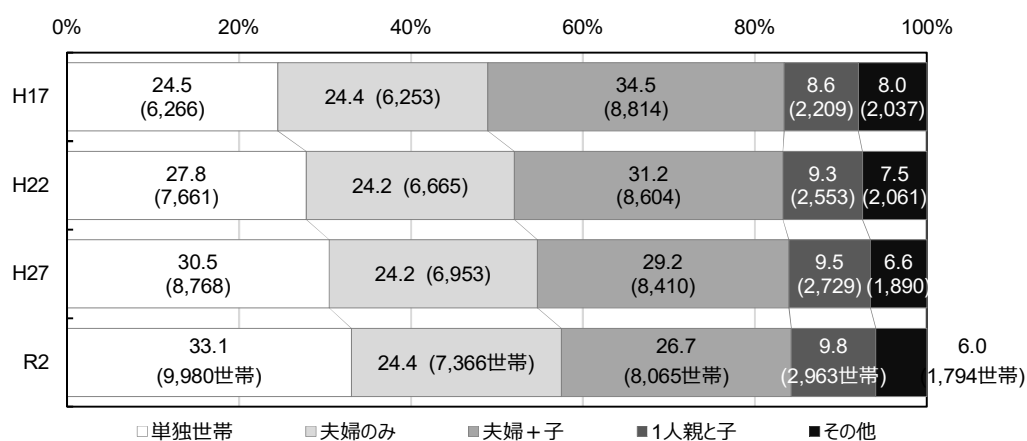
15年間（平成17～令和2年）の推移をみると、単独世帯が増加し、夫婦＋子世帯は減少しています。

図 2-6 家族類型別世帯数の比較



資料：令和2年国勢調査結果（総務省統計局）

図 2-7 家族類型別世帯数の推移



資料：各年国勢調査結果（総務省統計局）

2 住宅ストックの状況

(1) 住宅数・空き家数

恵庭市の住宅数は、平成 30 年現在で 33,590 戸であり、そのうち空き家は 4,070 戸、空家率は 12.1%となっています。

空家率は、全道より 1.4 ポイント低く、平成 25 年の 9.7%から増加しています。

空き家の内訳をみると、「賃貸用の住宅」が 2,910 戸（71.5%）となっています。

表 2-1 住宅数、空家率の比較

	a.普通 世帯数 (世帯)	b.住宅数 (戸)	c.空家数 (戸)	d=b-a 住宅の 過不足 (戸)	e=b/a 住宅の 過不足率 (%)	f=c/b 空家率 (%)
北海道	2,425,600	2,807,200	379,800	381,600	115.7%	13.5
恵庭市	29,550	33,590	4,070	4,040	113.7%	12.1

資料：平成 30 年住宅・土地統計調査結果（総務省統計局）

表 2-2 恵庭市の住宅数、空家率の推移

	a.普通 世帯数 (世帯)	b.住宅数 (戸)	c.空家数 (戸)	d=b-a 住宅の 過不足 (戸)	e=b/a 住宅の 過不足率 (%)	f=c/b 空家率 (%)
H20	26,660	30,610	3,920	3,950	114.8%	12.8
H25	27,030	29,740	2,890	2,710	110.0%	9.7
H30	29,550	33,590	4,070	4,040	113.7%	12.1

資料：各年住宅・土地統計調査結果（総務省統計局）

表 2-3 空き家の内訳

	空家総数	二次的住宅	賃貸用の住宅	売却用の住宅	その他の住宅
北海道	379,800 100.0%	8,900 2.3%	204,600 53.9%	9,000 2.4%	157,300 41.4%
恵庭市	4,070 100.0%	20 0.5%	2,910 71.5%	50 1.2%	1,090 26.8%

二次的住宅：別荘、ふだん住んでいる住宅とは別に、たまに寝泊りしている人がいる住宅

賃貸・売却用の住宅：新築・中古を問わず、賃貸・売却のために空き家になっている住宅

その他の住宅：上記以外の住宅で、居住世帯が長期にわたって不在の住宅や、建替えなどのために取り壊すことになっている住宅など

資料：平成 30 年住宅・土地統計調査結果（総務省統計局）

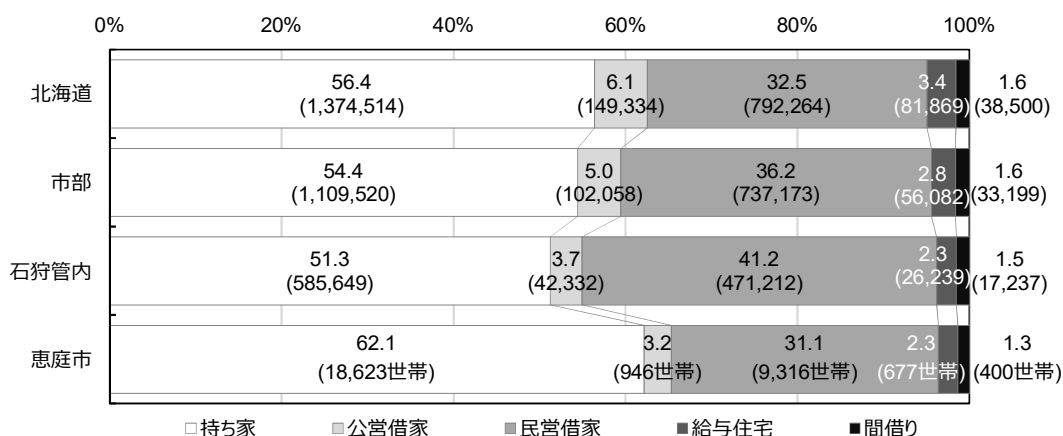
(2) 住宅所有関係別世帯数

住宅所有関係別世帯数は、令和2年国勢調査で持ち家が18,623世帯（62.1%）、公営借家が946世帯（3.2%）、民営借家が9,316世帯（31.1%）となっています。

全道、市部、石狩管内と比べて、公営借家率は最も低くなっています。

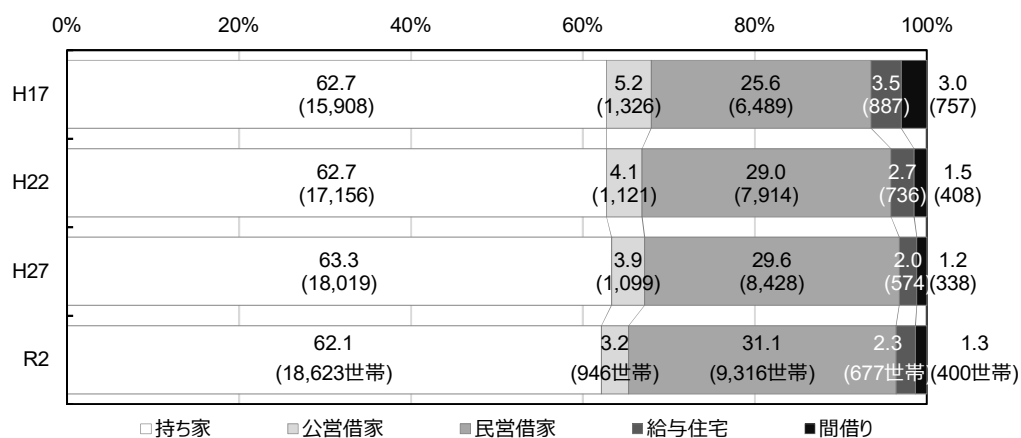
15年間（平成17～令和2年）の推移をみると、民営借家が増加し、公営借家は減少しています。

図 2-8 住宅所有関係別世帯構成比の比較



資料：令和2年国勢調査結果（総務省統計局）

図 2-9 住宅所有関係別世帯構成比の推移



資料：各年国勢調査結果（総務省統計局）